つるがしま男女共同参画推進プラン（第６次）における推進指標の目標値及び実績

指　標		現状値	実績値					目標値	指標の説明
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8	
基本目標Ⅰ	社会全体において男女の地位が平等になっていると思う人の割合	28.1% (R3.4.1現在)	— (R4.4.1現在)	— (R5.4.1現在)	— (R6.4.1現在)	— (R7.4.1現在)	31.4% (R8.4.1現在)	35% (R8.4.1現在)	男女平等意識を表す指標 （取組項目１）
	性別による固定的な役割分担意識に同感しない人の割合	60.9% (R3.4.1現在)	— (R4.4.1現在)	— (R5.4.1現在)	— (R6.4.1現在)	— (R7.4.1現在)	65.6% (R8.4.1現在)	70% (R8.4.1現在)	男女平等意識を表す指標 （取組項目５）
基本目標Ⅱ	女性が社会的な活動に参加し、責任ある立場につくことに賛成する人の割合	59.8% (R3.4.1現在)	— (R4.4.1現在)	— (R5.4.1現在)	— (R6.4.1現在)	— (R7.4.1現在)	58.1% (R8.4.1現在)	70% (R8.4.1現在)	女性の社会的地位の向上についての理解を表す指標 （取組項目８）
	認可保育園の国基準の待機児童数	0人 (R3.4.1現在)	0人 (R4.4.1現在)	0人 (R5.4.1現在)	0人 (R6.4.1現在)	0人 (R7.4.1現在)	0人 (R8.4.1現在)	0人 (R8.4.1現在)	男性も女性も働きながら、ともに子育てできる体制の整備状況を表す指標 （取組項目１９）
	自治会長に占める女性の割合	7.5% (R3.4.1現在)	13.8% (R4.4.1現在)	12.5% (R5.4.1現在)	8.9% (R6.4.1現在)	10.3% (R7.4.1現在)	10.4% (R8.4.1現在)	7.5% (R8.4.1現在)	地域における方針決定の場への女性の参画を表す指標 （取組項目２７）
基本目標Ⅲ	ＤＶを受けた経験が「まったくない」と回答した人の割合	48.7% (R3.4.1現在)	— (R4.4.1現在)	— (R5.4.1現在)	— (R6.4.1現在)	— (R7.4.1現在)	75.5% (R8.4.1現在)	55% (R8.4.1現在)	ＤＶを根絶する社会意識を表す指標 （取組項目２８）
	こんにちは赤ちゃん訪問の実施率	97.6% (R3.4.1現在)	97.4% (R4.4.1現在)	98.2% (R5.4.1現在)	97.7% (R6.4.1現在)	98.9% (R7.4.1現在)	98.3% (R8.4.1現在)	100% (R8.4.1現在)	子育て家庭の養育環境の把握状況を表す指標 （取組項目４６）
	鶴ヶ島市防災会議の委員における女性の割合	19.4% (R3.4.1現在)	16.7% (R4.4.1現在)	16.7% (R5.4.1現在)	13.3% (R6.4.1現在)	13.3% (R7.4.1現在)	13.3% (R8.4.1現在)	29% (R8.4.1現在)	防災・災害復興対策において女性の視点を取り入れる状況を表す指標 （取組項目４９）
基本目標Ⅳ	市の審議会などの委員に占める女性の割合	35.6% (R3.4.1現在)	34.7% (R4.4.1現在)	35.6% (R5.4.1現在)	36.1% (R6.4.1現在)	37.6% (R7.4.1現在)	36.6% (R8.4.1現在)	40% (R8.4.1現在)	市政における女性の参画状況を表す指標 （取組項目５２）
	市職員の管理職に占める女性の割合	22.0% (R3.4.1現在)	21.3% (R4.4.1現在)	20.0% (R5.4.1現在)	22.9% (R6.4.1現在)	20.6% (R7.4.1現在)	23.2% (R8.4.1現在)	25% (R8.4.1現在)	市政における女性の参画状況を表す指標 （取組項目５３）
	市の男性職員のうち育児休業制度利用対象職員における取得者の割合	0% (R3.4.1現在)	33.3% (R4.4.1現在)	33.3% (R5.4.1現在)	63.6% (R6.4.1現在)	100% (R7.4.1現在)	75.0% (R8.4.1現在)	10% (R8.4.1現在)	ワーク・ライフ・バランスを推進し、仕事と子育てを両立できる職場環境を醸成している状況を表す指標（取組項目５４）

指標の時点は原則として、現状値が令和３年４月１日現在（令和２年度中）、目標値が令和８年４月１日現在（令和７年度中）としています。
令和２年１２月と令和７年９月に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」が根拠となっている指標は、令和４年度から令和７年度の実績値を「—」と表示しています。